

令和2年度 大阪府立桜塚高等学校 第2回 学校運営協議会

令和2年 12月 11日（金）紙面開催

校長

准校長

委員 武庫川女子大学副学長、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、指導教諭、教務主任、生徒指導主事、自治会部長、進路指導主事、
保健部長、各学年主任、書記

1 校長、会長 挨拶

省略

2 委員紹介及び事務局員紹介

省略

3 報告

（1）生徒の活動状況について

① 進路状況

② 部活動・行事等

③ 生活指導状況

④ 次世代型教育 ICT活用授業

*資料につきましては、本校ホームページ (Google Gsuite for Education)

<https://sakurazuka.ed.jp/gsuite/> をご覧ください。

4 協議

学校経営計画の進捗状況について

*協議については、郵送物書面にて承認済み

【ご意見】

- ・進路状況について、昨年度の大学入試では、今年度の制度変更が国から予定されていたので、行きたい大学をあきらめた人も多かったのではないのでしょうか。センター試験に代わる共通テストへの出願者の内、既卒者が全国で2万人弱(15.1%)も減少したことにもあら現れています。そういった中で進路指導で大変苦労されたのではないかと思います。さらに今年は加えてコロナのせいで先を見通せない状況かと思えます。是非日ごろからの大学等との連携を継続強化していただきますようお願いいたします。
- ・コロナ感染拡大のため、対面での部活動・行事等が難しい状況があると思いますが、今後のAI時代に生きる生徒の将来を考えると、遠隔での活動等をうまく活用していく力を身につけることも大切であると思えます。
- ・生活指導面において、遅刻指導に力を入れて成果を上げていることは、大切なことと感じます。社会生活の基本をしっかり身に着けることの指導を、是非継続していただきたいと思えます。
- ・学校経営計画について、確かな学力への取り組み等、教職員がよく頑張っていると思えます。学力・人間力・地域連携・国際交流等の取り組みの前提となる、一人一人の将来像を自ら考え、実現に向けて努力する力を養うことが大切であると思えます。そこに大切なことは、具体的な将来像を描き、そこへの道筋を計画することと、それを支える自己肯定感の醸成であると思えます。数値的な結果指標も大切ですが、理念に基づいた取り組み指標も大切だと思っています。
- ・感染症対策のために、行事の精選や規模の縮小などが求められています。今一度各行事の教育的な意義・目的を明確にする必要があると感じています。
- ・遅刻や服装についての生活指導は、中学校でも同様の課題があり、発達年齢を踏まえたうえで、校種間(小中高)の情報交換も有益と思われます。
- ・学校経営計画について、オンライン授業については、積極的な取り組みを展開されてきましたが、ICTを活用した授業づくり等、引き続き継続した研究が必要と思われます。また、先生方が多忙な中で、定期的に研究協議ができる「教科会」などの時間確保が課題と感じます。

次回(第3回) 予定 月 日 ()